



〈絵本の読み聞かせの大切さ〉

毎月1回、講師の松本なお子さんによる絵本の読み聞かせの日を設けています。それぞれのクラスで20分程度の読み聞かせてで、パペット遊びから始まり、子どもの様子にあった長さや内容の絵本を毎回選んで持ってきてくれます。最初は20分間見ていることが出来ずに飽きてしまう子もいましたが、繰り返し楽しむ中で「今日は〇〇持ってきた?」「くま(パペット)やってー」とリクエストをし、楽しみにする子が増えてきました。繰り返しの言葉を楽しむ子や、参加型絵本、ファンタジーの世界を楽しむ子と、子どもによって楽しみ方はさまざまです。読み聞かせ終了後のなお子先生との振り返りの中で、絵本を通して起承転結がわかるようになってほしい、物語からごっこ遊び発展したり、実体験に循環したりしていくといいな等、絵本が生活や遊びに繋がることを教わりました。

11月の法人研修会で「誰が国語力を殺すのか」(石井光太氏)の講演を聴きました。その話の中で、国語力劣化の要因の中に読書の質の低下があげられてしまいました。さまざまな絵本を読んでいく中で年齢にあった絵本が理解できてくるのが、年齢にあったボキャブラリーや解像度に繋がり、その力が必要とのことでした。解像度を上げていかないと理解度やコミュニケーション力がついていかないそうです。

ころころ伊場では、今後も毎日の読み聞かせを繰り返し行っていきながら、語彙力の獲得、絵本を聞いた子どもたちの思いを大切にしていきたいと思えます。ご家庭でも安心できる環境の中、親御さんと絵本の時間を十分にとっていただけたらと思えます。

ころころ伊場で楽しんでいる絵本

ほしクラス : くれよんのくろくん・へんしんトンネルシリーズ
11ぴきのねこシリーズ・てじな
たいようクラス : めのまどあけろ・3ぴきのやぎのがらがらどん
もこもこもこ・てじな



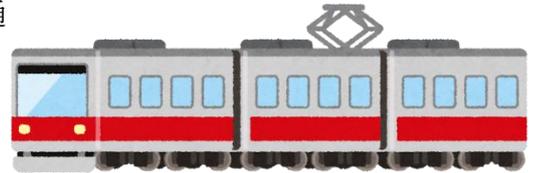
🌞 たいよう 🌞

< 神様のおうちへ… >

たいようクラスの庭のように出かけていた第二、第四公園。遊具の工事が始まり、しばらく行けなくなってしまいました。そこで、道草散歩をしながら近所の津島神社に行くことにしました。“道草しながらの散歩”をするのは初めて。子どもたちがイメージできるように、朝の会で絵を描いて話をしました。「ころころ伊場から道を歩いて、葉っぱやお花を摘んでみようか。最後には神様のおうち（神社）に行くよ」と伝えると、「えー！神様のおうち！」と喜びました。歩きながら道端の猫じゃらしを集めて花束のようにしたり、草の実を集めて自分の散歩バックに入れました。大事そうに散歩バックに入れていた子に「誰かにあげるの？」と聞くと「うん、神様のおみやげにする」と言いました。神社に着いて集めた実を一つずつ並べ、お供えしてきました。

< カンカンカン！ >

乗り物が大好きなたいようの子どもたち。ころころの南側にある JR 工場の踏切を見に行くことにしました。踏切が見えてくると大興奮！線路も渡って大満足です。近くの遊歩道でお茶を飲んで帰ろうと思って腰を下ろしたところ、「♪カンカンカン」と踏切の音！走って駆け付けると、ちょうど踏切が下りて新幹線が通るところでした。私たち職員も目が釘付けになり、貴重な体験をすることができました。



☆ほし☆

< 雑巾がけで楽しく体力づくり >

午後の活動前ににこにこルームの掃除をしています。ミニほうきとちりとりでゴミを集め、その後に雑巾がけをしています。最初は「ねえ、どうやってやるの？」とほうきとちりとりを使うのにも四苦八苦していました。次第に使い方にも慣れ、大きなゴミがとれると「見て、大きいのが取れた！いっぱい取れたよ」と部屋がきれいになるのを実感しています。次は雑巾しぼりです。雑巾を水で濡らして絞るところから始まります。ところが、上手く絞れず水がポタポタ・・・「出来ないよ・・・」「もうやりたくない！」と半べそをかいたり、むくれてしまう子もいました。保育者が「仕上げはするよ。大丈夫。」と励ましながら行いました。回数を行っていくうちに、仕上げをしても水の滴る量が減ってきました。「この前より、(雑巾が)絞れてるね。」という嬉しそうな子ども達です。いよいよ雑巾がけです。掃除を始めた当初は、一往復するのもままならず、体が崩れていました。また友だちと一緒にやるのが楽しくて、ぶつかりそうになったり危険なこともありました。

雑巾がけには体幹・バランス感覚・全身の筋力を鍛える。指先の発達や集中力を養うなど、様々な効果が得られます。

「手はパーだよ」「慌てなくてもいいからゆっくりやろう」「ぶつからないように前を見てね」と繰り返し伝えながら部屋の掃除を行いました。最初は掃除開始から終わりまで、30分ほどかかりましたが、最近では15分ほどであっという間に綺麗になっています。

子ども達自身の身体も変化しており、姿勢保持ができたり、体幹をつかうリズムができるようになりました。身体づくりに必要なものは続けます。これからも楽しく行なっていきたいと思います。

